



報告する(左3人目から右)石澤事務局次長と高橋事務長=30日、仙台市

## 現行保険証存続を 宮城民医連“マイナ”障害続々

宮城県民主医療機関

連合会は30日、県庁内で記者会見し、加盟する事業所の過半数でマイナ保険証のトラブルが起きていると報告

報告し、4病院と68医科診療所、3歯科診療所、11保険薬局の26事業所に9月アンケートを取った結果をまとめたと説明しました。

過半数の14事業所で「保険者情報の間違」、「顔認証のエラー」などのトラブルがあり、多くは健康保険証を撤回し、現行の保険証を存続させるべきだ」と訴えました。

業務に支障をきたす」などの声が上がっていると紹介。「医療を受ける権利の侵害」「窓口の負荷増大」などの問題点を指摘し、「現行の保険証を存続するためには声を上げてほしい」と呼びかけました。

坂総合クリニックの高橋輝美事務長は、「顔認証に時間がかかるからね、「認証端末が固定で寝たきり、車いす、外出待機する発熱患者の認証ができるな」と対応できない」と訴えました。

マイナ保険証の利用率は平均2.1%で、現場からは、「認証端末が現在は3%ほどの利用率だが、100%になつたら窓口の職員を増員しないと対応できな

い」と訴えました。